

(様式第1号)

みなとSDGsパートナー 登録申請書

2022年10月21日

国土交通省港湾局長 殿

みなとSDGsパートナー登録制度実施要綱第4条第1項に基づき、下記のとおり登録を申請します。

1. 概要

企業・団体名	株式会社村山商店
所在地	神奈川県川崎市川崎区東扇島38番地1
代表者役職・氏名	代表取締役社長 各務毅
担当者連絡先	電話：044-287-6111 (担当：総務部 椿祐介)
	メール：y-tsubaki@murayama-shoten.com
ウェブサイトURL	https://murayama-shoten.co.jp

2. 港湾関係企業等としての事業の概要

明治6年に創業し、川崎港を中心に東京・横浜の3港において外国貿易船及び内航船からの荷物の積卸し及び運送等、幅広く港の仕事に寄与しています
--

3側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	従業員の働き方改革と健康推進 ストレスチェックの実施と回答率の向上	ストレスチェック回答率 現状 41% 目標 60%
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	ペーパーレス化推奨による環境保全 タブレット等を有効活用し、社内文書(申請・会議資料) 給与明細書などのペーパーレス化を推進	ペーパーレスによる紙使用量の削減 現状 37,000枚 目標 5%減
☒ 環境 ☐ 社会 ☒ 経済	LED照明の採用	LED照明の採用のみならず、人感センサーを導入して、電力の削減に努める

(次項へ続く)

SDGs達成に向けた具体的な取組

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
1	【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している						5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2	【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	ハラスメントを禁止する旨を就業規則に記載するとともに責任者による状況の把握					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3	【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	時間外労働時間を集計し、各部署の責任者へ状況を報告し、注意喚起を行っている								8.5 8.8									
4	【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している					4.4				8.5 8.7 8.8		10.2 10.3							
5	【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	安全衛生委員を選任し、定期的に現場パトロール・安全会議を実施			3					8									
6	【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	ストレスチェックの実施			3														
7	【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	就業規則で育児休業・介護休業等の整備 定年後も雇用希望する従業員には協議を行い嘱託社員として雇用					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3							
8	【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	年に1度、資格・免許取得についての計画書を作成				4	5.5			8	9								
9	【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している						5.5			8.5		10.2 10.3							
10	【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	従業員の健康診断の実施 インフルエンザワクチンの接種の補助			3					8									
11	【3 Rの推進】 ・事業活動等から発生する廃棄物の管理及び処理を適切に行う等、3 R（リデュース、リユース、リサイクル）の推進に取り組んでいる	ペーパーレス化の推進 再生紙の利用											11.6	12.4 12.5		14.1			
12	【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	LED照明の使用							7.3						13				
13	【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、排出量の削減を進めている								7.2 7.3					12.4	13.3				
14	【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる				3.9			6.3					11.6	12.4					

カ テ ゴ リ	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、 併せて記載してください。)	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
15	【生物多様性】 ・ 自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している							6.6									15		
16	【水の管理】 ・ 水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる							6.4 6.6											
17	【環境マネジメントシステム】 ・ ISO14001、または同等の環境マネジメント規格を取得している			3.9				6	7					12	13.3	14	15		
18	【環境情報開示】 ・ 環境の取り組みに関する情報を正しく開示している													12.6					
19	【再生可能エネルギーの利用】 ・ 再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる								7.2						13				
20	【天然資源の持続的利用】 ・ 天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる													12.2	13	14	15		
21	【製品・サービスの安全性】 ・ 製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	ISO9001を取得 サービスの品質維持・向上に努めている			3.9									12.4					
22	【品質保証】 ・ 品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	ISO9001を取得 サービスの品質維持・向上に努めている									9								
23	【環境配慮】 ・ 環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	DXの取組としてペーパーレス化の推進						6						12	13	14	15		
24	【社会課題解決】 ・ 社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
25	【地域への配慮】 ・ 自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している					4					9		11	12		14	15		17
26	【社会貢献活動】 ・ 寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	所属団体連携による地域清掃活動の参加等				4							11			14	15		17
27	【地域資源】 ・ 地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している									8	9		11	12	13				

カテゴリー	チェック項目	具体的な取組 (公的な取得認証があれば、併せて記載してください。)	主なSDGs (17ゴールと169ターゲット) 関連項目																
			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
																			
28	組織体制	【内部管理体制】 ・SDG s の達成に向けた経営理念及び経営目標を社内でも共有している	経営理念を明文化しており、ホームページにSDGsの取組とともに明記して共有している																
29		【法令遵守】 ・反社会的勢力の排除、汚職や贈収賄、不正競争行為の防止など法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している																	
30		【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している																	
31		【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー(※)との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している (※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体)	ISO9001の顧客満足度調査書により把握																
32		【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している																	
33		【社会的責任】 ・CSR (Corporate Social Responsibility : 企業の社会的責任) の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる																	
34		【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	防災マニュアルを作成																
35		【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている																	

上記以外で設定した取組項目

[illegible]

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所在地：	神奈川県川崎市川崎区東扇島 38 番地 1
名称：	株式会社村山商店
代表者：	代表取締役社長 各務毅
登録年月日：	令和 4 年 12 月 23 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
□環境 ✓社会 □経済	業員の働き方改革と健康推進 ストレスチェックの実施と回答率 の向上	ストレスチェック回答率 現状 41% 目標 60%	2023 年度 44%
✓環境 □社会 ✓経済	ペーパーレス化推奨による環境保全 タブレット等を有効活用し、社内文 書（申請・会議資料）給与明細書な どのペーパーレス化を推進	ペーパーレスによる紙 使用量の削減 現状 37,000 枚 目標 5%減	2023 年度 11 月現在 1.5%減
✓環境 □社会 ✓経済	LED 照明の採用	LED 照明の採用のみならず、人感センサーを 導入して、電力の削減 に努める	LED 照明及び人感センサー導 入

令和 7 年 1 月 2 3 日

SDGs 達成に向けた取組及び指標の進捗状況報告書

国土交通省港湾局長 殿

所 在 地：	神奈川県川崎市川崎区東扇島 38 番地 1
名 称：	株式会社村山商店
代 表 者：	代表取締役社長 各務毅
登録年月日：	令和 4 年 12 月 23 日

みなとSDGs パートナー登録制度実施要綱第 7 条の規定により、下記のとおり進捗状況を報告します。

3 側面	SDGs 達成に向けた重点的な取組	2030 年に向けた指標	指標の進捗状況
✓環境 ✓社会 □経済	業員の働き方改革と健康推進 ストレスチェックの実施と回答率 の向上	ストレスチェック回答率 現状 41% 目標 60%	2024 年度 44%
✓環境 □社会 ✓経済	ペーパーレス化推奨による環境保全 タブレット等を有効活用し、社内文 書（申請・会議資料）給与明細書な どのペーパーレス化を推進	ペーパーレスによる紙 使用量の削減 現状 37,000 枚 目標 5%減	2024 年度 12 月現在 前年度 同数 （従業員数の増員があり総数は同 数であったが 1 人あたりの使用枚 数は約 4%減）
✓環境 □社会 ✓経済	LED 照明の採用	LED 照明の採用のみな らず、人感センサーを 導入して、電力の削減 に努める	LED 照明及び人感センサー導 入済